

「心からのウルル声明」への仏教徒の回答

(2023年9月2日にシドニーで開催されたニューサウスウェールズ州仏教評議会主催のワークショップで、様々な仏教コミュニティの代表者によって作成された)

招待状

「心からのウルル声明」において、オーストラリアの先住民族（ファースト・ネーション）は、憲法に「声」を明記すること、オーストラリアの歴史について真実を語ること、政府と先住民族との合意形成プロセスを求めています。先住民族は、より良い未来を目指すオーストラリア国民の運動の一翼を担い、彼らと共に歩むよう招待しています。

私たちの歴史

オーストラリアの先住民族（ファースト・ネーション）は、6万年以上も前からこの地に住んでおり、世界で最も古い文化を継承している民族です。1788年以来、大規模な虐殺、土地の剥奪、子供の強制連行、文化や言語の禁止など、植民地化の影響が彼らやその家族、地域社会に持続的に影響を与えています。侵略者と先住民族（ファースト・ネーション）の間に条約が存在しなかったため、土地の割譲は行われませんでした。先住民族（ファースト・ネーション）は回復力を示し、自分たちの文化を維持し、自分たちの言語を復活させ、現代のオーストラリアで自分たちの存在を確立しています。しかし、多くの者達は依然として社会から疎外、排除され、差別や制度的人種差別の対象となっており、その結果、健康、教育、富の面において不平等な結果が続いており、投獄率も極端に高い水準にあります。

文化の多様性

オーストラリアの仏教徒コミュニティは、さまざまな国から集まり、多種多様な言語を話します。私たちの多くは、難民として、あるいは経済移民として、故郷を離れ、今では自分たちが「家」と呼ぶ場所で自己を確立し、自身の文化を維持するためオーストラリアに移住してきました。私たちは今までオーストラリア先住民族との接点がほとんどなかったかもしれませんが、自分の土地で声を上げられず、よそ者でいることがどのようなことなのか、よく理解できます。

仏教的価値観

私たちは、オーストラリアの先住民族が私たちと共有してくれた貴重なもの、すなわち彼らの文化、国土への深い結びつき、家族やコミュニティへの献身に感謝しています。また私たちは、過去と現在の過ちに対する彼らの赦しに謙虚に接しています。私たちは、慈愛、思いやり、共感の喜びといった価値観や、万物との深いつながり、マインドフルネスと深い傾聴の実践において、オーストラリア先住民族と共通の価値観を見出しています。私たちはまた、オーストラリアを故郷とする全ての人々のために、不正義に立ち向かい、苦しみを癒すために団結し、真実を語ることの必要性を認識しています。

我々仏教徒の反応

私たちは、オーストラリア先住民族（ファースト・ネーション）と非先住民族が、公正で団結力のある社会の中で共存するオーストラリアを築くために、共に歩むよう招かれたことに感謝の意を表します。また、オーストラリアの過去と現在における真実の和解から生まれる癒しを期待しています。私たちは「先住民族（ファースト・ネーション）の人々の声」を支援します。特に気候や生態系の危機に直面している現代において、先住民族の知恵や生きた経験、そして自然界との結びつきや自然界への理解から、私たち全員が恩恵を受けることができますように。

すべての生き物が幸せでありますように。